

## W20 分科会パネル・ディスカッション②「デジタル時代のジェンダー平等」

---

### 現状・課題

---

デジタル化がもたらした変革のスケール感、スピード感は世界を圧倒しその勢いはとまるすべを知らない。2022年までには世界GDP60%がデジタル化されるという。人類すべてに新たな機会をもたらす、従来のライフスタイル、ワークスタイルの根底を覆しワークライフバランスを可能にする一方、ギグエコノミーの進展やオンラインハラスメントなどの脅威もはらんでいる。デジタルは女性の敵か味方か。脅威を回避し、格差をなくし、全てのジェンダーがデジタル化による最大限の恩恵を得る新たな成長のカタチとは。25x25 G20コミットメント達成に向け教育、人事制度、金融政策、の観点から有効な施策を議論する。

### 論点

---

- STEM教育のあるべき姿とは？ELSI(Ethical Legal and Social Issues)RRI(Responsible Research and Innovation)の必要性について
- 仕事の未来は？デジタル社会における人事制度、マネージメント教育。フレックスワーキングなどを通じたインクルーシブな働き方と成長機会を考える。
- デジタル時代の金融施策のあるべき姿とは？社会生活に必要なツールとしてのITの価格設定。税制優遇措置。デジタル化投資などを視野に入れて議論する。
- STEMの女性積極登用、幹部育成に向けてどのようなKPI、ガバナンスにより変革を促すか？